

点照

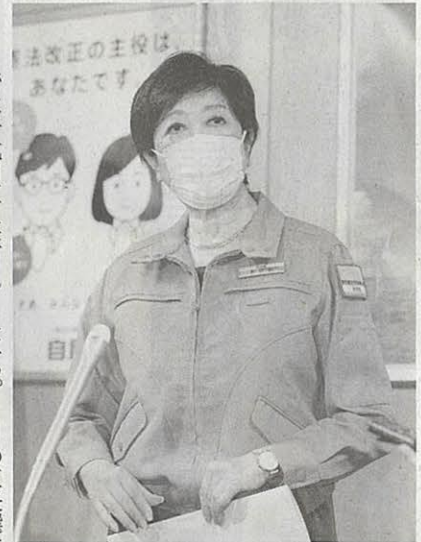
東京都議選の告示まで1ヵ月。緊急事態宣言が解けず、五輪の是非を問う声が高まる中、都民ファーストの会や自民党は勢いを欠き、野党共闘の成否も見通せない。小池百合子知事の動向がカギを握る展開になりそうだ。

米大統領選では、全体の趨勢を占う「スイングステート」と呼ばれる州があるが、都議選にもいわば「スイングシテイー」といえる選挙区がある。代表的なのが党勢を映しやすいう1人区だ。

全42選挙区(定数127)のうち、千代田区、中央区、武蔵野市、青梅市、昭島市、小金井市、島部の7つある。2000年以降、5度の選挙で第1党は最低でも5勝2敗と大きく勝ち越した。

特に重要なのが千代田区、中央区、青梅市だ。最近10年が民主党、13年は自民党、17年は都民フと第1党の入れ替わりが激しいが、過去20年で第1党になった党はすべてこの3選挙区を制している。

都議選「スイングシテイー」



小池知事が自民党本部を訪れる機会は増えている(4月)

ここでは千代田区に注目したい。有権者は5万4千人だが、投票率は都平均に近く、投票動向は全体の趨勢に重なる部分が多い。

商店街の神田や秋葉原は自民党が強いが、情勢を左右しそうなのは皇居の西北に並ぶマンションなどの有権者だ。町丁別では英国大使館のある一番町が3千人で最も多く、次いでその北側の三番町、さらに靖国神社を挟んで外堀沿いの富士見2丁目が続く。

これらの地域がある3つの投票区は、区内16の投票区の中でも投票率が高い。前回の都議選の投票者数は区全体の4割超を占めた。キャスティングボートを握るといえよう。

コロナ下で小池知事と自民党は対決色を薄めてきたが、千代田区は接近度を試す舞台

(編集委員 斉藤)

神奈川

2021年5月27日付 日経新聞(神奈川経済面)

政府に延長要請で一致

1都3県知事 緊急事態・まん延防止

東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県の知事は26日に開いたテレビ会議で、各都県に出されている新型コロナウイルスの緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の延長を政府に要請することで一致した。31日に期限を迎えるが、変異ウイルスの脅威などを踏まえ「予断を

許さない厳しい状況」と判断した。足元の都内の新規感染者数は減少傾向にあるが、東京都の小池百合子知事は「(緊急事態宣言を)解除すると短期間で再拡大することが懸念される」と延長の必要性を述べた。1都3県は日常的に往来がある同一の生

活圏であることから足並みをそろえて政府に延長を要請することを確認。埼玉の大野元裕知事は首都圏の人の流れの抑制などで「改めて連携を密にしたい」と話した。

千葉の熊谷俊人知事は「(感染者数は)減少傾向にあるが、下がりきってはいない」と話した。神

横浜市の大規模接種

6月6日から開始

横浜市は26日、新型コロナウイルスワクチンの接種を拡大すると発表した。大規模接種会場は複数施設「横浜ハンマーヘッド」(横浜市)で6月6日から7月31日まで毎日接種を実施するとし、予約の受付枠を9万2000人分と当初計画から3万9500人分増やす。また市の予約・問い合わせの電話回線も6月

21日までに110回線追加する予定だ。大規模接種会場では米モデルナ製のワクチンを使用する。医療機関や学校法人岩崎学園などから医療従事者の派遣を受け、1日3000回以上の接種を目指す。会場まではJR桜木町駅から無料シャトルバスを5分間隔で運行する。予約は75歳以上が5月31日から、

65〜74歳が6月3日からと2段階に分けて受け付ける。

個別接種できる医療機関向けに予約専用回線など体制整備費として、1医療機関あたり月15万円の協力を支給する。

集団接種会場での予約も6月15日以降は随時予約に切り替える。市による記述式のワクチン接種レシートを、以上確保しているとし、林文子市長は「7月末までに希望する65歳以上の高齢者の接種を完了でき」と話した。

横浜支局 045-2201-2555
川崎支局 044-2222-7793